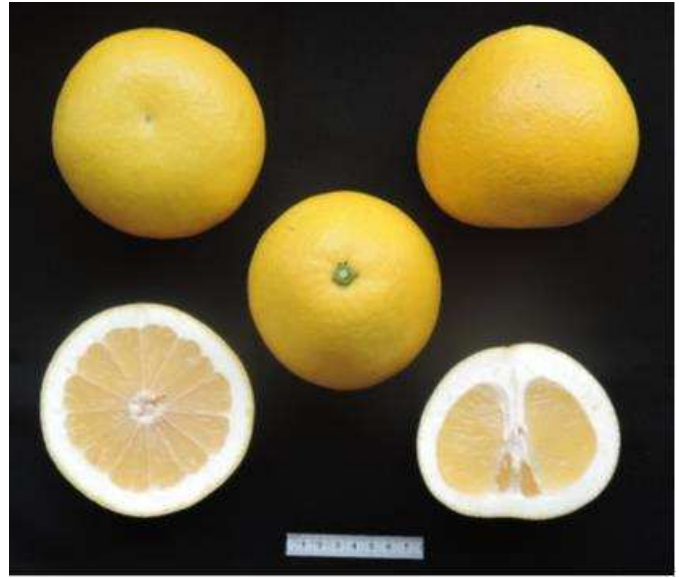


しおり カンキツ新品種「汐里」



由来

- 「汐里」は、種子親を四倍体ヒュウガナツを種子親として、花粉親を酸度が極めて低いブタン「Siamese Acidless」を花粉親として、育成した三倍体品種です。
- 広島県の育成で、令和2年1月31日に品種登録出願を行い、令和4年6月9日に品種登録となりました（第29244号）。
- 品種名は、瀬戸内の育成地にちなみ、沿岸の冬季温暖な地域が適地であることから命名しました。

特性

- ヒュウガナツに類似した爽やかな風香味です。
- 果形は球形で、果皮は黄色で滑らかです。果実重は300～400gとなります。
- 種子が極めて少なく、果汁が多くて柔らかく、カットフルーツに向く品種です。
- 育成地での3月中旬の調査では、糖度は12.0度、酸度は1.06%で、成熟期はヒュウガナツに比べて2カ月程度早いです。
- 貯蔵期間中の腐敗、果皮障害およびす上がりの発生は少ないです。

果実特性

品種名	果実重 (g)	果皮厚 (mm)	果肉歩合 ^z (%)	完全 種子数	糖度 (°Brix)	酸度 (%)	糖酸比 ^y
汐里	285	7.9	64.7	0.6	12.0	1.06	11.3
ヒュウガナツ	151	4.9	72.0	35.8	11.9	1.84	6.5
土佐文旦	391	8.3	70.8	37.6	12.1	1.19	10.2

栽培地点は広島総研農技C果樹研究部（東広島市安芸津町）で2品種を同一園地で栽培
2019年3月8日に収穫して同年3月14日に分析

^z (果実重-果皮重) ÷ 果実重 ^y 糖度 ÷ 酸度

* 本研究の一部は生研支援センターのイノベーション創出強化研究推進事業（JPJ007097）にて実施しました。
* 問合せ先：広島県立総合技術研究所農業技術センター技術支援部（TEL.082-429-0522）